

高松市美術館は平成30(2018)年に開館30周年を迎えます。それを記念し、同年に開催を予定している特別展「1980年代の日本美術(仮)」のイベントとして、80年代当時、美術の最前線で精力的な批評活動を展開した建畠哲(美術批評家/詩人)・篠原資明(当館館長)両氏による対談を実施します。ユニークかつ多様な展開を遂げた日本の80年代美術について、当時の思い出話も交えながら、楽しく語り明かしていただきます。

日本の 80年代美術を めぐって



1947年京都市生まれ。多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長。

専門は近現代美術。詩人としても活躍。「東アジア文化都市2017京都」アーティスティック・ディレクター。

【しのぼらもとあき】
篠原資明

【たてはたあきら】
建畠哲

1950年香川県生まれ。高松市美術館館長、京都大学名誉教授、京都市立芸術大学客員教授。

専門は哲学・美学。詩人としても活躍。80年代以降、現代美術の批評を精力的に展開。



2017年7月8日(土) 13:30 ~ 15:00

申込 予約不要・入場無料

*当日は11:00~12:00に「まぶさび教室(館長講座)」第3講も開催されます。あわせてご参加ください。

会場 高松市美術館 1階講堂

お問合せ 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 (TEL) 087-823-1711
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>